

リノ チョイス

Reno*choice

C-01

接ぎ木のように新下枠を取付けることで「下枠段差」を解消した工法

グラフ GRAF工法



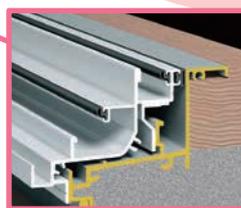
施工後



施工前



改修しても
段差ができないの!



GRAF工法とは(工法名の由来)

(Grafting: 接ぎ木する) 根本を活かす接ぎ木のように既設アルミ窓枠を有効利用しリニューアルすることから、『GRAF工法』と名付けました。

ポイント

既設アルミサッシ(KJ-A、KJ-B等)の改修ができます。
既設アルミサッシ(KJ-A、KJ-B等)の改修時に生じていた「下枠段差」を解消した画期的な工法です。

ポイント

既設窓の下枠レールをカットし、接ぎ木(graft)のように新下枠を取付ける工法です。
騒音・粉塵を抑制し、居住中でも、わずか半日で工事完了。耐風圧性、気密性、水密性等のサッシの性能レベルを上げます。

ポイント

サッシの有効開口を大きくとることができ、採光や通行を妨げません。
下枠レールをカットした分、従来工法より有効開口を大きくとることができます。



グラフ
GRAF工法

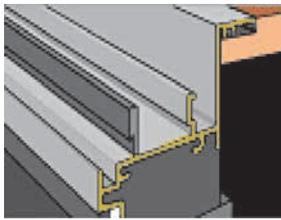


●リノチョイスとは？

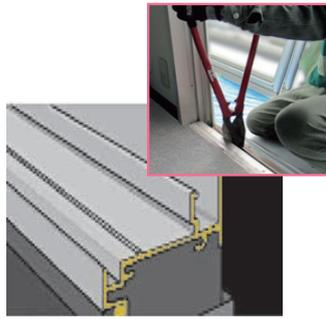
リノチョイスは、昭和30～50年代に建設された団地、マンション、社宅などに向けた、様々な修繕部材、工法、専用工具の総称ブランド名です。私達JSは、UR都市機構と共に50余年、団地の修繕や管理に従事するとともに、古い集合住宅にお住まいのお客様の視点に立ち、「集合住宅の改良・改善に必要なだが世の中にはないものは自ら作る」をモットーに、リノチョイスの商品群を開発してまいりました。

GRAF工法はUR賃貸住宅や分譲住宅等のリニューアル工事で多数の採用実績があります。

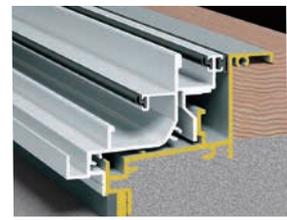
●施工手順について



①既設の下枠レール



②既設の下枠外レールをカット



③新設枠をかぶせる

専用レールカット工具
により騒音・粉塵を抑制

●従来工法との比較について

	GRAF 工法	従来工法 ※数値は一例です	
		カバー工法	持ち出し工法
下枠段差解消	<p>下枠段差が発生しません 0mm</p>	<p>29mm 下枠段差が発生</p>	<p>20mm 下枠段差が発生</p>
有効開口の確保	<p>既設枠開口 1800mm 枠有効開口 1766mm 0mm</p>	<p>既設枠開口 1800mm 枠有効開口 1731mm 29mm</p>	<p>既設枠開口 1800mm 枠有効開口 1745mm 35mm 20mm</p>
既設開口 1800mm に対する 有効開口			

共同開発：YKK AP株式会社

注意

- 一部の形状が特殊なサッシでは段差が生じることがあります。
- 仕様は予告なく変更することがあります。
- 写真は設置例であり、現場に合わせて施工するため写真の仕上がりとは異なる場合があります。
- 模様替え工事は、管理規約(模様替え協定等)に従って行ってください。協定の詳細はお住まいの管理組合にお問い合わせください。